

関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト
(博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト)
2022 年度春学期 支援対象学生募集要項

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「次世代研究者挑戦的研究プログラム ～博士後期課程学生の挑戦を支援する～」(以下「本事業」という)の助成を受け、2021 年度から標記プロジェクトを実施しています。

つきましては、次のとおり 2022 年度春学期の「支援対象学生」を募集します。

1. 目的

高度な知識・技能を修得しつつある博士課程後期課程学生が、卓越した「考動力」を発揮して様々な社会課題に取組み、その解決に貢献できる研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動することができるよう、経済的支援を強化することにより、専門領域の研究に専念できるのみならず社会に貢献できる自身の将来像を描ける環境を総合的・包括的に整備することを目的とします。

2. 内容

本人材育成プロジェクトでは、博士課程後期課程学生に対し2つのプログラムを融合かつ併行させて学生に提供します。

一つ目は、人文・社会科学分野と自然科学分野の学生双方に向けた産学連携・地域連携プログラムを提供します。二つ目は、企業等のマネジメント担当者、連携協定自治体等と協力して行う専門的キャリア支援プログラムです。

この2つのプログラムを通して対象学生は、卓越した「考動力」を養い、社会的課題解決に向かって未来を切り開く挑戦的で融合的な研究を推進する能力を高め、そして研究と実社会にまたがるトランスファラブルスキル※を醸成できます。

経済的支援として、生活費相当額のほか、研究面においては「次世代博士研究員」の身分を付与し、研究奨励費等として基盤研究費に加え、採用時の研究計画に応じた「挑戦支援研究費」及び国際的な研究活動に対する「国際活動経費」を支給します。

※ 社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いもの

3. 支援対象学生

応募資格を満たす、2022 年度春学期博士課程後期課程の入学生

4. 募集人数

3 名

5. 採用期間

最長3年間

ただし、1 年毎に実績を審査し、進捗状況が芳しくない場合は採用を取り消す場合があります。

6. 研究奨励費等

支援対象学生には、採用期間中、生活費相当額：200万円（年額）と研究費：30～130万円（年額）に加え、国際活動経費等（研究計画により別途）を支給します。

※ 生活費相当額は、上記の年額を4、7、10、1月は20万円、その他の月は15万円として支給します。

※ 研究費は、「基盤研究費」30万円に加え、採用時の研究計画において挑戦的かつ独創的な構想を有する者には、当該内容に応じて「挑戦支援研究費」0～100万円及び「国際活動経費等（研究計画により別途）」を追加措置します。ただし、「挑戦支援研究費」については、本事業全体予算から配分するため、希望額から減額調整を行う場合があります。

※ 生活費相当額は税法上雑所得として扱われていることを扶養義務者（親等）に伝えるとともに、健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者（親等）の職場等に問い合わせてください。また、所得税における扶養の扱いについては、近隣の税務署に問い合わせてください。

※ 生活費相当額は雑所得として扱われるため、所得税、住民税の課税の対象となります。確定申告が必要となります。

参考サイト：国税庁「所得税の確定申告」

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/kakutei.htm>

※ 「研究費」は公的研究資金の扱いとなり、学内手続き上は原則として本学の研究費執行ルールに準じます。具体的な手続きは「研究費支出手続きハンドブック」に基づきます。ただし、用途等については本プログラム用に別途定めることがあります。

7. 応募資格

本プログラムに申請できる者は、次の①～③までの要件を全て満たすものとします。

- ① 卓越した「考動力」により、社会的課題解決に向かって未来を切り開く挑戦的で融合的な研究を進める意欲がある者。
- ② 2022年度春学期博士課程後期課程の入学生
- ③ 次のいずれにも該当しない者
 - ・ 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
 - ・ 国費外国人留学生制度による支援を受けている留学生
 - ・ 所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240万円/年額）で給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生

8. 支援に伴う学生の責務

支援対象学生は、次に掲げるすべての事項を行わなければなりません。

- (1) 本プログラムにおいて提供するキャリア開発・育成コンテンツに参加し、研究能力に加えて、課題解決能力、コミュニケーション能力、調整能力、リーダーシップ等のトランスファラブルスキルの養成に努めること。
- (2) あらかじめ定めた研究計画に基づき、学業及び研究に専念すること。
- (3) 研究を行うにあたっては、関西大学研究倫理規準をはじめ、本学が定める諸規則等を遵守すること。
- (4) 本学における研究活動上の不正行為への対応に関する規程等に定める責務を果たすこと。
- (5) 本学及びJSTが指定する研究倫理教育及びコンプライアンス研修を履修し、確認書を提出すること。
- (6) 支援対象学生が計画し、事業統括が承認した国際的な研究活動に取り組むこと。特に、国際学会等での研究発表、海外教員や大学院生との研究交流、海外協定大学等への留学及び国際的な研究雑誌への投稿、海外での調査活動のうち、少なくとも1項目は実践することが望ましい。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航が困難な場合はオンラインによる実施も可能とする。

- (7) 本学及び JST が本事業のために実施する学生交流会、研究進捗状況報告会等の諸行事に参加すること。
- (8) 本学及び JST が実施する各種調査に協力すること。
- (9) 活動報告書を事業統括に毎年度提出し、研究進捗状況報告会において発表すること。
- (10) 本学の学術情報システムに登録し、研究成果の公表に努めること。
- (11) 採用期間終了後も、追跡調査ほかに協力すること。

(キャリア開発・育成コンテンツの例)

- ① プレ FD
- ② ①と連動させた協力企業によるキャリア形成講座の実施
- ③ 協力企業による博士課程後期課程学生向けインターンシップの実施
- ④ 経済団体による博士課程後期課程学生向けインターンシップの実施
- ⑤ 協力企業、経済団体が実施する調査への協力(実地調査、データ分析等)

(研究活動の例)

- ・ 研究進捗状況報告会への参加
- ・ 研究論文発表・国際会議への参加
- ・ 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員への申請
- ・ 異分野融合研究応援プログラム「FUSION」への参加
- ・ 外部研究資金への申請

9. 奨学金等との併給

本事業は「学生が研究に専念できる環境を整備」するものであり、日本学生支援機構(JASSO)や本学の奨学金と性質が異なることから、貸与型・給付型のいずれであっても、併給は基本的に可能です。ただし、生活費相当額として十分な水準を給付型で提供されるような場合は、JASSO ほか併給を不可とする場合があるので、必ず事前に申し出てください。

10. 採用取消等

- (1) 本人材育成プロジェクト期間中に日本学術振興会特別研究員に採用された場合は、支援対象学生の採用を辞退いただくことになります。
- (2) キャリア開発・育成コンテンツへの参加状況及び研究活動の進捗・履行状況が、支援対象学生としてふさわしくないと判断された場合は、研究奨励費等の支給を停止し、採用を取り消すことがあります。
- (3) 支援対象学生が本学学生懲戒処分規程により懲戒の処分を受けた場合等には、採用を取り消し、研究奨励費等の全部又は一部を返還いただくことがあります。
- (4) 研究不正と認められた場合は、既に支給した研究奨励費等の全部又は一部を返還いただくことがあります。
- (5) 休学した場合、休学期間中の研究奨励費等の支給を停止します。
- (6) 退学等により本学の学籍を失った場合、研究奨励費等の支給を終了します。

11. 申請手続き

- (1) 募集期間
2022年4月1日(金)~4月20日(水)

(2) 申請書類（所定様式）

○申請書

- ・【志望理由】
- ・【研究計画】
- ・【国際的な研究活動の計画】

（研究テーマや方法、内容との関係性を考慮します。可能な範囲で記入してください）

○承諾書（研究科における指導教員）

(3) 提出方法

申請書類一式（申請書・承諾書を一つのPDFにまとめたもの）を、次のアドレスまで送信してください。

E-Mail: jisedai@ml.kandai.jp（関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト事務局）

なお、件名は、「【2022 春応募】応募者氏名 送信日」としてください。

例：関大花子さんが、2022 年 4 月 2 日に応募する場合の件名

→ 【2022 春応募】関大花子 2022/04/02

12. 選抜方法

第 1 次（書類選考）と第 2 次（プレゼンテーション）の2段階制にて選抜します。

※第 1 次（書類選考）で選抜し、採否を 5 月 7 日（土）頃申請書に記載のメールあて通知。

選考者には第 2 次（プレゼンテーション）を 5 月 14 日（土）（予定）実施します。

13. 選考の観点（方針）

- (1) 専門領域研究を深化させるのみならず、異分野との融合的な方法でもって新規分野を開拓できるような方向性を提示できる。
- (2) 本学の学是である「学の実化」を具現化できるような「学理と実際」を架橋する融合的な研究である。
※本学の有する産学連携・地域連携プログラムとの関わりについても考慮する。
- (3) グローバル並びにローカルレベルで発現する社会的諸課題の解決に向けて、高度なスキルと情熱をもって接近していこうとする姿勢である。
※申請学生の国際的な研究活動についても考慮する。

14. 採用決定通知日

2022 年 5 月 18 日（水） 予定

インフォメーションシステム「個人伝言」でお知らせします。

15. 問合せ先

関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト事務局

E-Mail: jisedai@ml.kandai.jp

16. その他

本人材育成プロジェクトの支援対象学生に採用された場合は、氏名・研究分野・研究テーマ等を公表します。また、研究成果や活動状況の公表に積極的に協力していただくことが期待されています。

以上